

白内障手術

木下 隆一

美術部のコラム掲載ということで、何を書いたらと思っていたが、近況報告の意味で、最近行なった白内障手術について書いてみました。

昨年12月の健康診断で医者に最近目が霞むと言ったら、年齢的に白内障でしょうと言われ、眼科に行ったら、実際そうだった。

健康診断では、ヘモグロビン Hb A1c 値が高く糖尿病と判明したので、相談したところ白内障手術は、糖尿病の薬により血糖値が下がって、その値が安定してからになるとのことで4月には血糖値が下がっていたが、5月末の予約で実際の手術日は、片目ずつ7月18日と25日となった。

白内障手術は初めての経験なので、不安と心配が重なり、手術日までかなりのストレスだった。

他の人の体験を聞いてみると、手術は簡単で直ぐ終わるとのこと、またある名医では手術が終わって時計を見たら2分しかかかっていなかったし、すぐに見違えるほどよく見えるようになったとのこと。

白内障は眼の中の水晶体をと呼ばれる透明なレンズが老化によって濁ってしまう病気で、手術では水晶体の濁りを除去し、代わりに透明な人工のレンズを目の中に挿入する。

実際、水晶体の濁りを吸い取る機器の音が聞こえ、執刀医が「今日は機械の調子が少し悪いな」と言っているのが聞こえた。

片目の手術所要時間は、15分ぐらい。麻酔の眼薬を点眼し、一箇所だけ穴の開いた分厚い布を、顔面にあてられ、目の周りをテープで固定し目を開けた状態で手術、メスは最初チクツとした感じであるが痛みは無かった、麻酔の目薬のせいかな術後も少ししみた感じが残る。

手術中眼はまばゆいライトを見つめることになりまた、絶えず洗浄（薬）液が目に流れ、

耐えられないものではなかったが、気分の良いものではないことは確か。

手術後の後の目は、保護ガーゼを当て翌日の医院の検査時に外してもらう。

右目は順調だったが、左目は乱視の調整レンズが術後検査で90度回転しており、当日急遽調整のためレンズ回転の簡単な手術（処置）を受けた。5分ぐらいだった。

なお人工レンズは、遠近両方焦点が合う多焦点（機能）レンズが、日常生活に不便ないので考えていたが 年齢と糖尿病のため、遠距離に合う単焦点レンズ（保険適用）しか選べなかった。

また術後の翌日の目は、聞いていたほどクリアでなく視力検査も悪くて不安に思ったが、医師によれば普通のことで徐々に良くなっていくとのことだった、術式によるのもかもしれない。

体験談 結論 そんなに簡単ではないが手術はすこし我慢が必要、手術中の痛みはないと言って良い。

絵画を描く者にとって目の視力は欠かせず、今回大事にならなかったことで一安心しています。



眼科医のホームページより手術室 歯科医の治療椅子に似ている



直近の油絵作品 7月 四谷桃園学園にてF50 右目手術直後